

## 「残雪のサイクリング」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京は桜が満開・・・というより、そろそろ終わりだが、北軽井沢ではまだ、朝晩はストーブが必要な気候だ。ところどころ雪も残っているが、幸い道はノーマルタイヤで走れる状態になった。私は、久しぶりにサイクリングに出してみた。



日中は気温も+15℃ぐらいまであがり、サイクリングには一番適した気温といえる。高原の道はアップダウンがあるが、快調に飛ばすことができた。



道端の残雪を観察してみた。断面が地層のようになっている。これはこの冬に降った雪の履歴といえる。このまま融けなければ、氷河になるのだろうが、とけて液体の水になってしまうので、この証拠も何も残らないのだ。



山の端(は)にはまだ雪がたくさん残っている。写真の中腹を横切る線は林道で、残雪の時期だけ、その存在を確認できる。



最後は浅間山が見えるキャベツ畑まで来た。浅間の残雪も美しい。残雪の道のサイクリングは、とても不思議な感覚で、新鮮な印象だった。